

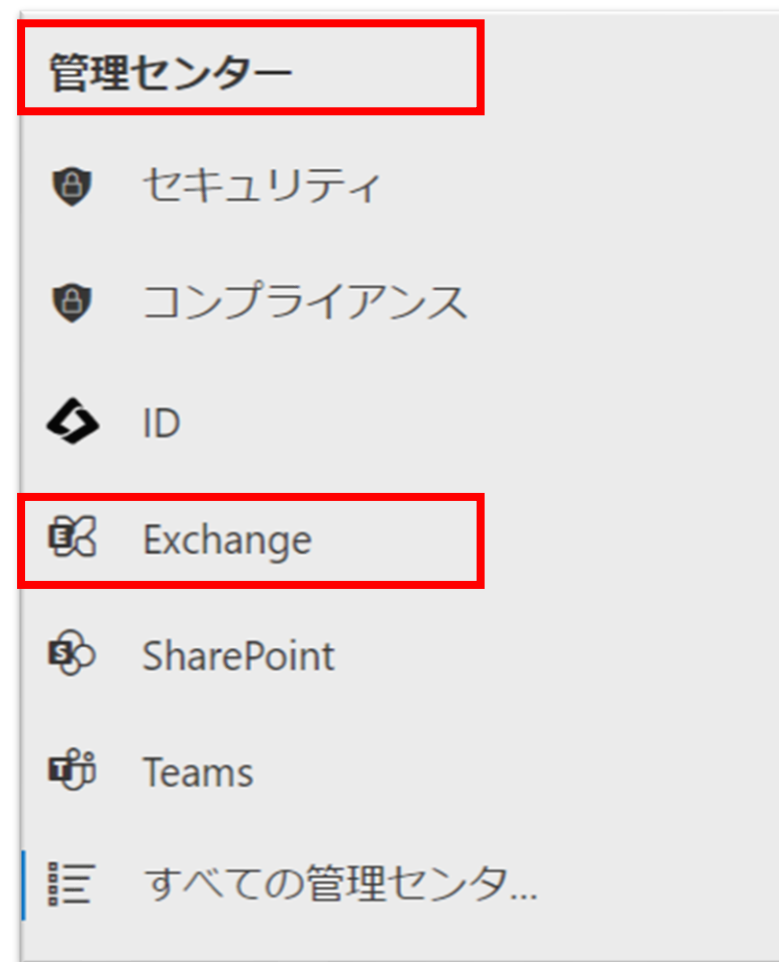
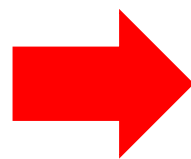
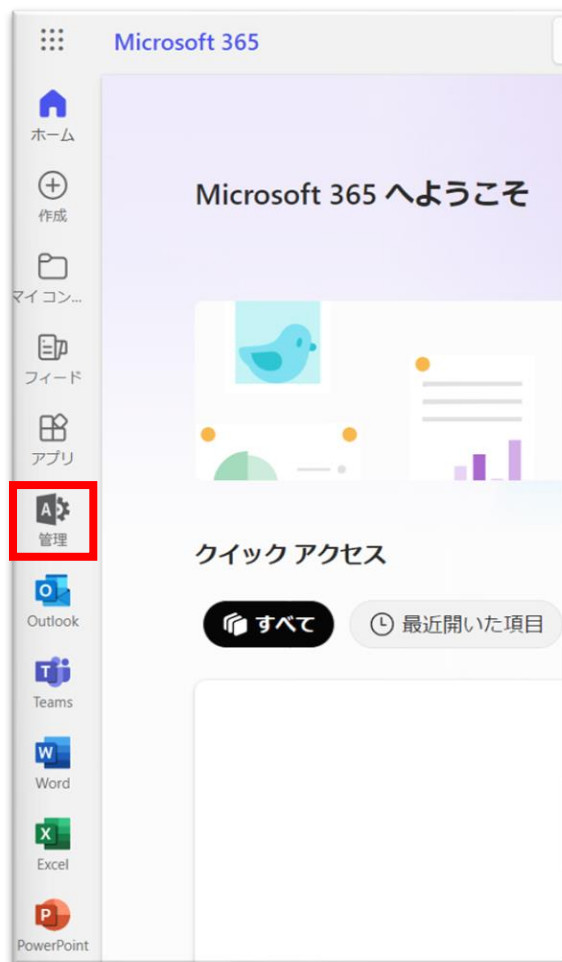
MailGates - Microsoft 365 連携設定 (送信コネクタの設定・アーカイブなし)

注意事項

- Microsoft 365をご利用のお客様向けに、MailGatesとの連携に必要な送信コネクタの設定について説明しています。Microsoft 365側の設定であり、本設定に伴うMailGatesの作業はございません。
- MailGatesの誤送信対策・メール暗号化・添付リンク機能を使用する場合に必要な設定です。
- 事前にSPFレコードが登録されていることを確認し、作業を行ってください。

設定手順

1. 管理者権限を持つアカウントでMicrosoft 365へログインします。
2. [管理]-[管理センター]-[Exchange]をクリックします。



設定手順

3.[メールフロー]-[コネクタ]をクリックします。

4.「+コネクタを追加」をクリックします。

The screenshot displays the Exchange Management Center (EMC) interface. The left navigation pane is visible, with 'メールフロー' (Mail Flow) and 'コネクタ' (Connectors) highlighted with red boxes. A red arrow points from 'メールフロー' to 'コネクタ'. The main content area shows the 'コネクタ' page, with the '+コネクタを追加' (Add Connector) button highlighted with a red box. A red arrow points from the 'コネクタ' button in the main content area back to the 'コネクタ' item in the left navigation pane.

設定手順

5. 接続元に「Office 365」、接続先に「パートナー組織」を選択し、「次」をクリックします。

コネクタを追加

新しいコネクタ

名前

コネクタの使用

ルーティング

セキュリティの制限

検証メール

コネクタを確認する

新しいコネクタ

メールフローのシナリオを指定してください。コネクタを設定する必要があるかどうかをお知らせします。

接続元

Office 365

組織のメールサーバー

パートナー組織

接続先

組織のメールサーバー

パートナー組織

設定手順

- 6.コネクタ名に「MAILGATESΣ 送信コネクタ」と入力し、
「コネクタの保存後に、何を行いますか？」はオンを選択したまま「次」をクリックします。

コネクタを追加

- 新しいコネクタ
- 名前
- コネクタの使用
- ルーティング
- セキュリティの制限
- 検証メール
- コネクタを確認する

コネクタ名

このコネクタは、Office 365 からパートナー組織またはサービス プロバイダに送信されるメール メッセージに対して、ルーティングとセキュリティの制約を強制します。

名前*

MAILGATES Σ 送信コネクタ

説明

コネクタの保存後に、何を行いますか? ⓘ

オンにする

設定手順

7. 「メールメッセージの送信先がこれらのドメインのときのみ」を選択します。
8. 「*」（アスタリスク）を入力し「+」ボタンから追加後、「次」をクリックします。



設定手順

9. 「これらのスマート ホストを使ってメールをルーティングする」を選択します。

コネクタを追加

- ✓ 新しいコネクタ
- ✓ 名前
- ✓ コネクタの使用
- ルーティング
- セキュリティの制限
- 検証メール
- コネクタを確認する

ルーティング

メール メッセージをどのようにルーティングしますか？

Office 365 からのメール メッセージの配信先となるスマート ホストを 1 つ以上指定します。スマートホストとは代替サーバーであり、完全修飾ドメイン名 (FQDN) または IP アドレスで指定します。

パートナーのドメインに関連付けられている MX レコードを使う

これらのスマート ホストを使ってメールをルーティングする

例: myhost.contoso.com または 192.168.3.2

設定手順

10. 開通通知書のMXレコード欄が「mgf.cybermail.jp」の場合、
「mgf.cybermail.jp」を入力し「+」ボタンから追加後、「次」をクリックします。

開通通知書のMXレコード欄が「mgp.cybermail.jp」の場合、
「mgp.cybermail.jp」を入力し「+」ボタンから追加後、「次」をクリックします。

ルーティング

メール メッセージをどのようにルーティングしますか？

Office 365 からのメール メッセージの配信先となるスマート ホストを 1 つ以上指定します。スマートホストとは代替サーバーであり、完全修飾ドメイン名 (FQDN) または IP アドレスで指定します。

パートナーのドメインに関連付けられている MX レコードを使う

これらのスマート ホストを使ってメールをルーティングする

例: myhost.contoso.com または 192.168.3.2



mgf.cybermail.jp



ルーティング

メール メッセージをどのようにルーティングしますか？

Office 365 からのメール メッセージの配信先となるスマート ホストを 1 つ以上指定します。スマートホストとは代替サーバーであり、完全修飾ドメイン名 (FQDN) または IP アドレスで指定します。

パートナーのドメインに関連付けられている MX レコードを使う

これらのスマート ホストを使ってメールをルーティングする

例: myhost.contoso.com または 192.168.3.2



mgp.cybermail.jp



設定手順

11. 「常にトランスポート層セキュリティ (TLS) を使って接続をセキュリティで保護する (推奨)」にチェックを入れ、「信頼された証明機関 (CA) によって発行された」を選択し「次」をクリックします。

コネクタを追加

- ✓ 新しいコネクタ
- ✓ 名前
- ✓ コネクタの使用
- ✓ ルーティング
- セキュリティの制限
- 検証メール
- コネクタを確認する

セキュリティの制限

Office 365 からパートナー組織のメール サーバーへの接続方法を選んでください。

- 常にトランスポート層セキュリティ (TLS) を使って接続をセキュリティで保護する (推奨)
受信者のメール サーバーの証明書がこの条件と一致する場合のみ接続します
- 任意のデジタル証明書 (これには自己署名証明書も含まれます)
- 信頼できる証明機関 (CA) によって発行された
 - このドメイン名に一致するサブジェクト名またはサブジェクトの別名 (SAN) を追加する:
例: contoso.com または *.contoso.com

設定手順

12.メールの送受信が可能な外部のメールアドレスを入力し、「+」ボタンから追加します。

13.「検証」をクリックします。

検証メール

パートナードメインにあるアクティブなメールボックスのメールアドレスを指定してください。パートナー組織に複数のドメインがある場合は、複数のアドレスを追加できます。

adm@example.com



検証



検証メール

パートナードメインにあるアクティブなメールボックスのメールアドレスを指定してください。パートナー組織に複数のドメインがある場合は、複数のアドレスを追加できます。

例: user@contoso.com



adm@example.com



検証

設定手順

14. 設定が正しい場合は「検証が成功しました」と表示されます。
確認後「次」をクリックします。

※既存の送信コネクタが有効になっている場合検証失敗になる恐れがあります。

検証メール

パートナー ドメインにあるアクティブなメールボックスのメール アドレスを指定してください。パートナー組織に複数のドメインがある場合は、複数のアドレスを追加できます。

例: user@contoso.com +

adm@example.com 🗑️

検証

✔️ 検証が成功しました

| > | タスク | 状態 |
|---|--|----|
| > | Check connectivity to 'mcp.cybermail.jp' | 成功 |
| > | Send test email | 成功 |

設定手順

15. 設定内容を確認し、問題がなければ「コネクタを作成」をクリックします。

コネクタを確認する

メール フローのシナリオ
接続元: Office 365
接続先: パートナー組織

名前
MAILGATES Σ 送信コネクタ
[名前を編集](#)

コネクタの使用
メールの送信先が次のドメインのときのみ使用する: *
[使用を編集](#)

ルーティング
次のスマート ホストを経由してメール メッセージをルーティングします: mgp.cybermail.jp
[ルーティングを編集](#)

セキュリティの制限
常にトランスポート層セキュリティ (TLS) を使用し、接続するのは受信者のメール サーバー証明書の発行元が信頼できる証明機関 (CA) である場合のみとなります。
[制限を編集](#)

